

1992 年度に笹川科学研究助成金より「ハナヤスリ科は生きた化石か」という研究課題について助成をいただきました。ハナヤスリ科というのはシダの仲間の科ですが、その奇妙な形態から類縁関係についていくつかの仮説が提唱されていました。当時、遺伝子を用いた類縁関係の推定が可能となりつつある段階で、我々の研究グループは世界に先駆けてシダの仲間の系統関係を解析しつつありました。遺伝子による類縁解析という新しい研究のためには、試行錯誤的な技術開発と地道な実験データの蓄積が必要でした。そのような実験に笹川科学研究助成金は多いに役立ち、分子進化の専門誌である *Journal of Molecular Evolution* 誌に論文を発表することができました (Hasebe, M., Ito, M., Kofuji, R., Ueda, K., and Iwatsuki, K. [1993] Phylogenetic relationships of ferns deduced from *rbcL* gene sequence. *J. Mol. Evol.* 37: 476-482)。

そして、この研究は、その後、シダの仲間全体の系統解析という現在のシダ研究の原点となった研究成果へとつながっていきました。ハナヤスリ科という個別の分類群についての研究でしたが、その基礎科学としての面白さに加え、研究手法開発と成果がより広範にインパクトのある研究成果へとつながることを十分ご評価いただいた審査委員方々のご見識に感服している次第です。今後とも、将来性の高い研究をたくさん見いだしていただけることを期待しております。